

# 高校生のための科学の祭典

# 科学オリンピックに キミもチャレンジ!

計算ミスで大幅減点されてしまう数学や物理、覚えることばかりの化学や生物……。理科系科目はどれも苦手、という人も、高校生のための科学の祭典「科学オリンピック」の世界を知れば、見方が変わるかも。参加経験者は「学ぶ楽しさが深まった」と口をそろえる。

## 数学部門 生徒同士で 過去問特訓

2008年度の「日本数学オリンピック」に、全国でも多数の54人が参加した埼玉・私立春日部共栄高等学校。予選突破を果たした星野翔太郎君(3年)は、出題される問題について「トーナメント戦の勝敗など、日常生活とのかかりがある設定が多く、面白い。取り組むことで、数学の新しい視野が見えてきました」と魅力を語る。

## 生物部門 合宿形式の試験で 全国の仲間と交流

同校数学科の浅古聡史先生は、出場生徒について「成績や大学受験と関係なく『数学が好きだからチャレンジする』というムードが、先輩から受け継がれています」。4日の間、「生物好き」の仲間とたくさん交流する中で刺激を受け、見識が広がりました。二次試験には進めなかった河野雄大君(2年)も「力不足でしたが、一次試験の理論問題で生物の日本代表の一人に勝ち残った千葉県立船橋高等学校の大月亮太君(3年)ぜひ参加したい」と話す。

## 物理部門 実験のアイデアの ユニークさを表彰

物理分野の国内大会「物理チャレンジ」では、一次選考の実験課題について、取り組み方のアイデアの面白さや独創性を表彰する賞を設けている。日本代表選抜のための成績評価とは別個だ。昨年度の大会に参加した岩手県立盛岡第一高等学校の佐々木裕典君(3年)は、実験方法を工夫したことが高く評価され、受賞。ビデオカメラのコマ送り撮影によって振り子の揺れ動きを記録し、正確なデータを得た。「論理を組み立てていくところが実験の面白さ。ペーパーテストの成績が足りず二次選考に進めなかったが、今年リベンジしたい」と意欲を語る。

## 化学部門 日本代表になれない 3年生も挑戦

山梨・私立駿台甲府高等学校3月卒業の齋藤由樹君は昨年度の「全国高校化学グランプリ」に参



左から「生物チャレンジ」に参加した県立船橋高校の横山潤君(3年)、大月君、河野君。「参加後、身近な現象に関心が深まった」(横山君)

加。出場時点で3年生のため、日本代表に選ばれる資格はなかったが、「出題問題の面白さに引かれて」2年の時に続き再挑戦した。「初めて過去問に接したとき、問題を解きながら化学の深みに触れられる面白さに感動した」と齋藤君は話す。

## 情報部門

### 先輩部員から 技術伝授され挑戦

静岡県立浜松工業高等学校情報処理部は、部活動として「日本情報オリンピック」に06年から参加。部員は入部時点では大半がパソコン初心者だが、プログラムのイロハを先輩部員から学び、同大会に挑む。「ブラインドタッチから教わりました。参加を目標に、自分が上達していくのが楽しい」と今村健吾君(3年)。



合宿形式で行われた昨年8月の「全国高校化学グランプリ」二次選考。課題終了後、最先端研究者の話や課題を聞く。(写真提供：科学技術振興機構)

途中選考で敗退した生徒も日本代表に選ばれた魅力に触れ、自分の世界を広げたいと目を輝かせて語った。次は、君の番だ。

学園フェスティバル(記者室)でも  
総合教育サービス(株)へ  
<http://skstokyo.co.jp>



部として情報オリンピックに挑む浜松工業高校情報処理部

## 国内選考と国際大会からなる 「科学オリンピック」

毎年夏、科学や数学が好きな10代が世界中から集まり、身に付けた思考力や技術を競い合う国際的コンテスト「国際科学オリンピック」。数学・物理・化学・生物・情報の分野ごとに各開催国で実施される。

高校生年代が主役となるこれらの国際大会に、1990年から日本の高校生も毎年参加している。共通する科学や数学への興味によって、世界の高校生と言葉の壁を越え、深く交流する。

国際大会に出場できるのは、各分野数人の日本代表生徒だけだが、選考の間である国内大会には、2008年度の生物分野、化学分野でそれぞれ2千人超(ともに中学生含む)など、多数が参加。ペーパーテストや実験などの選考課題に挑む高校生は、年々増えている。

同オリンピックを支援する独立行政法人科学技術振興機構の白紫霊豊さんは、「知的好奇心や考える力を試せる場。学校の成績に関係なく、数学や科学が好きな人はどんどん参加して」と話す。

国内大会	国際大会
日本数学オリンピック	国際数学オリンピック
全国物理コンテスト「物理チャレンジ」	国際物理オリンピック
全国高校化学グランプリ	国際化学オリンピック
日本情報オリンピック	国際情報オリンピック
全国生物学コンテスト「生物チャレンジ」	国際生物学オリンピック

参加応募期間 ● <全国物理コンテスト「物理チャレンジ」> 4月1日(水)~4月30日(木)、<全国高校化学グランプリ> 5月18日(月)~6月19日(金)、<全国生物学コンテスト「生物チャレンジ」> 4月1日(水)~6月1日(月)、<日本数学オリンピック> 5月1日~10月31日予定、<日本情報オリンピック> 9月~12月予定、詳細は<http://contest.ist.go.jp>を参照。